

令和6年度第3回計画変更
令和5年度第2回計画変更
令和4年度第1回計画変更
令和2年度 着工

農地整備事業（経営体育成型）

変更計画概要書

ながやまにしだい1

永山西第1地区

北海道 上川総合振興局

I 変更を必要とする内容及び理由	3 事業費					
	区分 事業種	現計画 (千円)	変更計画 (千円)	増減 (千円)	増減の内訳 (千円)	変更の有無
	区画整理	1,200,000	1,610,000	410,000	自然増減 196,500 工法変更 203,000 事業量変更 ▲ 23,000 その他 33,500	有
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
					自然増減 工法変更 事業量変更 その他	
	計	1,200,000	1,610,000	410,000	自然増減 196,500 工法変更 203,000 事業量変更 ▲ 23,000 その他 33,500	有

II 変更後の概要	1 目的						
	地域において、旭川市を中心とし、「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」での中心経営体への農地集積が進められているが、集積を加速化させるためには、営農体系の変化に即した水利利用の見直しが必要であり、水管理の効率化・省力化を図る水路のバイプライン化等合理化整備を緊急的に実施する事で、活力ある地域農業を確立したい。						
2 地域の所在及び現況	(1) 地域の所在		旭川市				
	(2) 地域の現況						
	ア 地形		旭川市の東部、石狩川流域に位置する水田地帯であり、肥沃な土壌及び恵まれた気象、水利条件の下で水稲作付けを中心に展開されている優良農業地帯である。				
	イ 地質		沖積土、泥炭土				
	ウ 土壌		無機質表層低位泥炭土、暗色表層褐色低地土				
	エ 気象 内陸型の気候で、寒暖の差が著しく有感地震及び風水害ともごくまれである。						
	平均気温		7.1℃		かんがい期平均気温		17.5℃
	平均降水量		1,083.5mm		積雪深 90cm		平均降水日数 157.6日
	根雪期間		11月22日から4月8日		無霜期間		5月15日から10月8日
	オ 水利状況		一級河川石狩川を取水源とした大雪頭首工掛かりで、導水幹線、永山幹線、統合用水、第2幹線を経て、小用水路より地区内にかんがいている。				
	カ 営農状況		平均水田16.30haの経営規模であるが、本計画により『田園環境整備マスタープラン』達成のため、担い手を中心に農地の集積を促進して、水田農業経営の体質強化を図る。				
	キ 地域環境の概況		本地域は石狩川を中心として多くの支流河川からなる豊かな自然環境や水辺空間が創出されている農業地域であり、動植物共に北海道の内陸部でみられる種（シダ植物、ドジョウ等）で占められている。				
	(3) 地積及び受益戸数						
	区分		田 (ha)	畑 (ha)	その他 (ha)		計 (ha)
全体	現況	49.7	2.6	2.1		54.4	16
	計画	44.8	3.8	5.8		54.4	16
3 基本計画	(1) 事業計画内容 本事業により土地条件の改善を図るため、区画整理による土地改良及び用排水施設のバイプライン化を実施し、農業生産性の向上を図る。						
	(2) 環境との調和への配慮 本地区の整備に当っては、永山三号川、牛朱別川に生息する魚類への工事施工による汚濁水の河川流出及び低騒音、排ガス対策等に充分配慮する。						
4 工事又は管理の要領	事業種		受益戸数 (戸)	受益面積 (ha)	事業量及び事業内容		
	区画整理		16	44.8	整地工 A= 44.8ha 暗渠排水 A= 44.8ha 用水路 L= 6,051m 排水路 L= 2,757m 耕作道 L= 1,661m		
施設名		管理団体名			管理方法		
区画整理 (用水路) (排水路) (耕作道)		永山土地改良区			大規模な改修については、改良区で行い、補修・草刈等については多面的事業の組織である環境保全会にて管理する。		

II 変更後の概要	換地計画の要領	5 (1) 換地計画樹立の必要性 本地区は、区画の大型化等の生産基盤の整備を図り、農業の近代化と農用地の集団化を目指しており、事業で改編される権利関係の調整と集団化を図る上で換地計画の樹立が必要となる。										
		(2) 換地計画樹立の基本方針										
		ア 従前の土地の地積の基準 本地区の地積は、土地改良事業計画の決定日の登記簿地積とする。ただし、前記の日から3カ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申出があった場合は、その申出のあった地積とする。										
		イ 農用地集団の方法										
		換地区		地帯別、グループ別団地の設定			個人別換地の方法					
		永山西第1		該当なし			位置選択		1戸当たりの目標団地数		区画畦畔の取り扱い	
							換地は各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に選択する。		1団地		固定畦畔	
		ウ 非農用地の換地方針										
		換地区		種類	非農用地区域の位置の概略		面積	換地の手法	換地取得予定者	その他		
		永山西第1		点在宅地	概ね従前の位置		1.1ha	特定用地地域	従前の所在地			
		エ 清算の方法		標準地からの増減点方式(評価)、増加額比例地積清算方式(清算)								
		(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積										
		換地区		機能交換に係る土地				一般公有地		合計		
		永山西第1		ha	ha	ha	ha	ha	0.0(21m ²)	0.0(21m ²)		
		(4) 換地処分の特則 永山西第1地区の換地処分においては、地区全部の区画整理工事が完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する、同法54条第2項ただし書きの規定にもとづき換地処分を行うものとする。										
費用の概算	事業種	事業費	負担区分				工期	関連事業費	備考			
		千円	国	道	千円	千円		千円				
	区画整理	1,610,000	805,000	523,250	281,750	R2~R9	-					
	計	1,610,000	805,000	523,250	281,750							
効用	(1) 事業効果											
	効果項目	食料の安定供給確保				持続的発展		農村の振興		その他		計(千円)
		作物生産	品質向上	営農経費	維持管理	災害(農業)			国産農産物			
	効果額	27,105	13,968	52,294	△570	145			5,010		97,952	
	所得額	3,794		54,106	△3,539						54,361	
	(2) 事業の効用											
	項目	事業種	地区全体	区画整理							備考	
	総便益額(現在価値)		2,097,109	2,097,109								
	総費用総便益比		1.10	1.10								
	総所得償還率		98.3	98.3								
増加所得償還率		36.2	36.2									
8 他事業との関係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 該当なし						9 計画(変更)概要図 別図のとおり					
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 該当なし						10 その他					

農地事業(経営体育成型) 永山西第1地区 計画概要図

第3回計画変更 変更説明図



区画整理増A=1.0ha

工法変更箇所
 测试費 環境影響調査の取り止め

西部排水

永山三号川

統合第7分派

第2幹線用水路
 第2西支線用水路

第2西支線用水路

第2幹線用水路

工法変更箇所
 用水路 基礎材料の変更
 整地工 整地工法の変更

区画整理減A=△6.2ha

凡 例	
	用水路(開水路)
	用水路(管水路)
	排水路(開水路)
	排水路(管水路)
	耕作道路
	区画整理(整地)
	区画整理(暗渠)

